

きらめき通信

43

相和小学校放課後教室
発行日 2020.2.7
発行責任者 野地 泰次

「おとなたちへ」

子どもはみんな花の種です。
時期を待たばかならず花を咲かせます。
怒鳴ったり小突いたところで何も生まれません。
私たちにできるのは、
子どもの背中をそっと押すか、見守ることだけなんです。
親たちはことばを使いすぎます。
ことばはいりません。
ただ、子どもに寄り添うだけでいいんです。
哀しいときは一緒に哀しい顔をして、
うれしいときは一緒にうれしい顔をする。
子どもに寄り添うというのはそういうことです。
決して難しいことじゃありません。
家の中をきれいにしてください。
潔癖にならなくてもいいから、きれいにしてください。
そして温かいご飯を食べさせて、
一日五回以上、ほめてあげてください。
それだけで全然違う。
はじめから難しく考える必要はありません。
子育ては小さなことの積み重ねです。
みんなそういう単純なことを忘れて、
ことばだけで接しようとする。
だから間違えるんです。
親という権利を行使する前に、
どうかまずはひとりの人間として
子どもと向き合ってください。
お願いします。

『子どもたちへ』〜夜回り先生からのメッセージ〜

水谷 修 サンクチュアリ出版

五輪近づく!?

体育館でフープを使って遊んでいた子どもたちが、突然「オリンピックの輪」を作ろうと言い出し、五つの輪を作り始めました。

感心したのは、「あっ、黒がない」と五輪の色を知っていたことです。さてどうするのかと思うと、「しょうがないから他の色で作ろう」と。

さすがです。

出来上がったのが、左の写真です。輪より人の方が目立っている部分をご容赦ください。

.....

そして大好きな遊びの一つ「大型マット」でのパクンチョ。

マットに挟まれ、その中にいることが楽しいようです。

大人にはわからない子どもたちの世界の楽しみ方です。



梅と金次郎（春近し）

おねがい

- * 欠席は、放課後教室をキャンセルすることです。必ず連絡してください。
- * 利用申込書は、提出期日までに提出してください。

何度もすみません。